

キャラクター名
月宮 陽彩(ツミヤ ヒロ)

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー ブラム=ストーカー		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	吸血		初期侵食率	34 %
出自	安定した家庭	経験	永劫の別れ		邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	3	1	3			7	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	1	0	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
白熱	白兵	7r	4	Lv+5		素手のデータを変更
(mi80↑)灼熱		0				mi全て/侵蝕:5/HP:-[Lv*5]まで/消費HPだけ攻撃力上昇
(Ma)炎天血河	白兵	7r				Ma全て/侵蝕:8/HP:-2/D:+[Lv+1]/貫通/

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費	
鈴野春香	P 好意	N 不安			
友人?	P 憧憬	N 悔悟			
母親	P 尊敬	N 食傷			
敷島あやめ	P 親近感	N 不安			
プリズム	P 連帯感	N 隔意			
ミストレス	P 連帯感	N 不信感			
霧谷	P 誠意	N 不信感			

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
白熱	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 素手を下記データに変更								
終末の炎	3	2	マイナー	至近	自身	自動	80↑	
効果: [Lv*5]まで任意のHPを消費しメインプロセス中の攻撃力をその分上昇させる。								
コンセントレイト:ブラム=ストーカー	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: C値-Lv(7まで)								
鮮血の一撃	2	2	メジャー	武器	-	白兵/対決	-	
効果: ダイスを+[Lv+1]個。HP2点消費。								
渴きの主	2	4	メジャー	至近	単体	白兵/対決	-	
効果: 組み合わせた攻撃を装甲貫通とし、命中時HPを[Lv*4]点回復。								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ジャーム化済み

何不自由なく育てられ、平凡な人生を送ってきたいいこ。
過去の事故で両親に心配をかけたことがあり、両親が過保護気味。
下記の理由から割と刹那主義的な性格。なおそうなった理由は覚えていない。

記憶を失っているが彼には友人がいた。友人は不思議な力を持っており、何も無い所から火を出したり触れるだけで水を凍らせたりできた。
彼はたまたま友人がその力を行使しているところを目撃し、すごい力を持つ友人に憧れ、よく後ろをついて回っていた。
初めは嫌がっていた友人だったが、純粋に憧れと好意を向けてくる彼に絆され関係を深めていった。
この力は彼と友人だけの秘密だった。
しかし、彼らの関係は長くは続かなかった。友人はその力ゆえに厄介ごとを引き寄せる。
ジャームと友人の戦闘に巻き込まれた彼は一時生死をさまようほどの大怪我を負い、その責任を感じた友人はその力の一端を彼に用いて彼の中の自分の記憶を拭き取り、姿を消した。
UGNの処理によりこの事件は事故として扱われ、記憶の喪失も事故によるものとされた。
彼はこの出来事から空虚な後悔と喪失感を覚え、自覚なく刹那主義的な性格を持つようになった。

■『PC1』
●ロイス: 鈴野春香(すずの・はるか) ●推奨感情: P:好意/N:不安
●ワークス/カヴァー: 高校生/高校生
君はN市公立高校に通うごく普通の高校生…だった。3か月前、君はFHのテロに巻き込まれ、オーヴァードとして覚醒した。その際、成り行きでUGNという組織と協力し、自分たちオーヴァードの成れの果て、ジャームと交戦した。
その後、君は穏やかな日常生活を送っている。だが心の中に、自分は本当に人間なのか?それとも怪物なのか?という疑念を抱くようになった。それからはUG